

外科・消化器外科



外科は極めて守備範囲の広い診療科です。外傷や消化管穿孔などの緊急手術を要する疾患に加え、消化管がんや肝胆膵領域の悪性疾患など専門性が高い疾患を扱います。また、広く地域に必要とされる鼠径ヘルニアや胆石症、痔疾などの日常的な良性疾患の治療も含めて広い範囲を当院では学ぶことができます。

【研修概要】

特にがん治療においては内視鏡技術認定医5名、肝胆膵外科高度技能専門医2名が在籍しており、腹腔鏡下およびロボット支援下手術などの最新の手術手技や化学療法、放射線治療を駆使した高いレベルでの集学的治療を学ぶことができます。全国から多くの手術見学者が来院し、また当院での研修を希望される先生が毎年おられます。当院で研修した先輩たちが実際に全国の基幹病院や大学病院、がんセンターなどの最前線で活躍しています。また再び当院に戻って後輩の指導に情熱を傾けているものもいます。

【臨床研修修了後】

令和元年度からは当院を基幹とした島根県立中央病院外科専門研修プログラムが始まりました。当プログラムの特徴は自由度が高いことです。研修期間では島根県を中心とした魅力的な地域の最前線の連携施設で研修する、あるいは京都大学、島根大学、鳥取大学（五十音順）で研修することも可能です。臨床を始めてからじっくりと将来を考えたいという方にも適したプログラムでもあり、向上心を支える自由度の高いプログラムを目指しています。研修修了後は大学病院、がんセンターなどの教育病院や地域の基幹病院での研修の継続が可能です。

ぜひ活気溢れる当院で外科研修をお考えください。